



2026年7月

活動の足跡

近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
 奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

R8年7月度定例会：瀬戸蔵ミュージアム探訪

R8年7月7日(火) 9:20 ~ 14:00

☆行 程 名鉄瀬戸線栄町駅(9:40) ~ 尾張瀬戸駅 ~ 瀬戸蔵
 瀬戸蔵ミュージアム見学(学芸員さん解説) ~ ランチ ~ 帰途 (18名参加)

「せともの」という言葉が陶磁器全般を指すほど、日本の焼き物の歴史に大きな影響を与えてきたのが瀬戸焼です。瀬戸焼は、その長い歴史の中で、窯の構造、生産品目、技術、流通、そして社会の需要の変化に応じて、柔軟に姿を変えてきました。「瀬戸蔵ミュージアム」は、瀬戸焼の千年以上の歴史と瀬戸の持つ底力、とりわけ活気に満ちた 20 世紀(明治・大正・昭和)の日本のものづくりを支えた、やきものの街の記憶を五感で体感できる、瀬戸の歴史が凝縮された見応えのある総合博物館です。



瀬戸焼き物史千年余の歩み:「瀬戸蔵ミュージアム」

瀬戸蔵ミュージアムが入る複合施設「瀬戸蔵」は、2005 年の「愛・地球博(愛知万博)」の開催に合わせ、瀬戸市の中心市街地活性化と伝統産業の拠点として誕生しました。

背景には、20 世紀の瀬戸を支えた石炭窯や煙突、木造のやきもの工場(モロ)、そして市民や産業の足であった「瀬戸電(名鉄瀬戸線)」の旧・尾張瀬戸駅舎などが、時代の移り変わり(平成 13 年の駅舎解体など)とともに姿を消しつつあったという危機感がありました。

「やきものと共に積み上げ、育んできた伝統のある町そのものが展示室である」という「せと・まるっとミュージアム」のコンセプトのもと、失われゆく貴重な近代化遺産や生産道具、街の情景を一つの建物内に保存・再現し、瀬戸焼の文化を未来へ、そして世界へ発信するために創設されました。

最大の魅力は、「瀬戸の 20 世紀」をテーマにした 2 階の巨大なジオラマ空間と、3階の千年におよぶ歴史をたどる「瀬戸焼回廊」の大パノラマ展示です。

今回も学芸員さんの丁寧な説明と、深い知見に触れながら展示を巡ることで、単なる知識の蓄積にとどまらず、再発見があり、皆さんの見識が一段と広がるような時間を、過ごすことができたように思います。





郷土の歴史を楽しむ会

2026年7月

活動のお知らせ

近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

R8年7月度定例会 :

瀬戸蔵ミュージアム見学

令和8年7月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“^わ輪・^わ和・^わ笑”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日 時 : 令和8年7月7日(火) 9:20~14:00

☆集 合 : 名鉄瀬戸線栄町駅改札口前 9:20



ガラス壁面前辺りに集合

☆行 程 : 名鉄瀬戸線尾張瀬戸行栄町 9:40 発 → 尾張瀬戸駅 10:11 着
→ 徒歩移動(5分) → 瀬戸蔵ミュージアム
瀬戸蔵ミュージアム見学 10:30~11:30 (学芸員解説依頼)
瀬戸蔵館内散策 ~ ランチ会場(12:00~13:30) ~ 帰途

※費 用 : 500 円 (入館料 310 円+資料代 100 円 → 500 円 90円運営事務協力費)
ランチ:「藤井聡太応援ランチ or 地域グルメ瀬戸焼そば」から選択 (別々の店舗になります)
交通費: 栄町⇄尾張瀬戸 510 円×2 (マナカ)

・ 参加入力締め切り : R8年6月29日(予約人数確定のため)

